

# TPPに反対する人々の運動 連続講座

## 「すでにはじまっているTPP!

## その実態を撃つ」

第3回

### TPPに対抗する「置賜自給圏構想」の動き

山形県南部の3市5町にまたがる置賜地域でいま、“静かな革命”が始まろうとしています。高齢化、人口減、耕作放棄、荒れる山、さびれる商店街…。そんな地域の現実を逆手にとって、土、水、山、代々伝えてきた文化、穏やかな暮らしを見直し、掘り起こし、それを地域内で循環させることで地域が持っている本来の豊かさを取り戻し、子ども達に引き継ぐ実践です。「置賜自給圏構想」と名付けられたこの取り組みには、むらとまちの生活者、行政、商工業者、政治、教育者など地域で生きる人たちがすべてが参加します。

この置賜自給圏構想の提唱者であり推進者である置賜の百姓、菅野芳秀さんの話をじっくり聞き、討論します。

#### 【講師】

菅野芳秀さん(山形・長井市、農民)

1949年、山形県長井市生まれ。三里塚や沖縄で百姓や漁師の土地と海を守る闘いに関わった後、故郷に帰り代々農業を継ぐ。コメとニワトリ。アジア農民交流センター・TPPに反対する人々の運動の共同代表。置賜百姓交流会世話人。長井市の生ゴミリサイクルのレインボープラン推進。著書に『玉子と土といのちと』ほか



#### 連続講座「すでにはじまっているTPP!その実態を撃つ」とは?

TPPの合意・批准がなくても生活に直結した分野で実質的なTPP体制化が現実に進んでいる。その実態をTPPと絡めて討論し、それに対抗する運動を検討します。単発参加も歓迎ですので、ぜひ参加下さい。

□ 日時(第3回目):

11月29日(土) 15:00~18:00

□ 参加費:800円/会員:各回500円(※)  
※ 当日入会(年会費2,000円)も割引適用

□ お申込み

お名前、参加希望日、連絡先(メールアドレス、電話番号など)を明記の上、以下の連絡先までお送り下さい。なお、会員の方はその旨お書き添え下さい。

「TPPに反対する人々の運動」事務局  
東京都新宿区西早稲田1-9-19アーバンヒルズ  
早稲田207号室

FAX:020-4665-2232  
メール:muramachitpp@gmail.com

インターネットフォームで簡単に申込可能です。  
<http://bit.ly/1rUXnLV>



主催:TPPに反対する人々の運動

# TPPに反対する人々の運動 今後の連続講座予定

第 1 回



**9月16日(火)**  
**18:30~20:30**  
**労働政策の改悪の動きと闘い**

安倍政権は、新成長戦略による「残業代ゼロ」の「新たな労働時間制度」の創設をはじめ、解雇規制の緩和、一度は廃案になった「労働者派遣法」の「改正」など、労働者が長年に渡って闘い獲得してきた労働者の権利を次々と剥奪しようとしています。また、人権を無視した外国人労働者の受け入れも含め、「働く」が根底から覆されようとしています。

新聞記者として、長年、こうした問題を追ってきた東海林智さんからは、労働関係の制度政策の改悪の動きや問題点について、現場の声をもとにお話しいただき、討論します。

【講師】東海林智さん(毎日新聞記者)

1988年毎日新聞入社。社会部で厚生労働省担当。03年労働者派遣法改定の時にいち早く批判記事を書く。08年の「年越し派遣村」には実行委員として参画する。著書に『15歳からの労働組合入門』『貧困の現場』『派遣村 国を動かした6日間』など。

第 2 回



**10月4日(火)**  
**18:30~20:30**  
**食の安全はいま**

TPP交渉では輸入食品の安全基準や食品表示ルールにもかかわる協定も取り上げられています。これらは、ひたすら食のグローバル化を進め、国の安全基準をないがしろにしかねません。実際、マクドナルドの消費期限切れの鶏肉、かびの生えた加工食品の製造問題は、利益優先の食品企業やファストフードの問題点を象徴しています。

一方、この秋には新たな食品表示の基準が決められようとしています。消費者的選択の自由を確保する保証はありません。さらに一般健康食品の機能性表示を認めようとする動きも始まっています。こうした出来事の背景にあるTPPと食の安全問題を取り上げます。

【講師】

安田節子さん(食政策センター・ビジョン21代表)

「食政策センター・ビジョン21」代表、オピニオン誌「いのちの講座」を発行。著書には『わが子からはじまる食べものと放射能のはなし』、『食べてはいけない遺伝子組み換え食品』共著には『TPPと日本の論点』があり、イラスト冊子『TPP本当の話』を頒布中。

第 4 回

**12月18日(木) 18:30~20:30**  
**日本から「ソウル宣言に答えて」**  
**—新たな協同の発見—**

2013年にソウル市で開催された「グローバル社会経済フォーラム」において「ソウル宣言」が採択されました。その内容は「市場原理主義に対抗し、市民・協同組合・自治体を中心に信頼と協同を基礎に、効率性と平衡性、そして持続可能な社会を作る運動を行おう」というものであり、そのために10項目の実践的な行動指針を提案されました。今年も11月17日~19日にかけてソウル市で同フォーラムが開催されます。

日本からこのフォーラムの大会への参加を進めている丸山さんから、今年の成果を報告していただき、TPPに対抗するオルタナティブとしての市民運動、協同組合運動、社会的企業運動をさぐっていきます。

【講師】

丸山茂樹さん(参加型システム研究所客員研究員)

1937年愛知県生まれ。生活クラブ生協連合会国際担当を経て、ソウル大学留学。韓国聖公會大学大学院非常勤講師(協同組合論・社会運動史)、韓国農漁村社会研究所理事、エントロピー学会元共同代表、JC総研、参加型システム研究所客員研究員。

第 5 回

**1月20日(火) 18:30~20:30**  
**NAFTAの国メキシコに**  
**TPPを探る**

TPPに反対する人々の運動が2013年の5月から6月に開催した国際シンポジウムにメキシコの通信労組(STRM)のマリカルメン・リヤマス・モンテスさんを招聘し、北米自由貿易協定(NAFTA)が人々の生活にどう影響しているかを報告していただきました。保税加工制度、農産物の自由化など、自由貿易・投資協定が何をもたらすか。11月にメキシコを訪ねた報告を受け、その事例からTPPを考えます。

【報告者】

加藤真希さん(日本国際ボランティアセンター)ほか